

## 第 44 回 エクソンモービル児童文化賞

### 神宮 輝夫 (じんぐう てるお)

児童文学研究者・翻訳家

#### ◆ 贈賞理由 ◆

神宮輝夫氏は、英米児童文学の研究者として『アーサー・ランサム全集』、『ウォーターシップダウンのうさぎたち』などのほか、多くの作品を翻訳・紹介するとともに、青山学院大学、白百合女子大学の教授として後進の指導に当たり、現在第一線で活躍する優れた翻訳者や研究者をたくさん輩出。また、ほぼ半世紀にわたって日本の児童文学の研究と評論の分野でも主導的な役割を果たし、『児童文学の中の子ども』、『現代児童文学作家対談』(全10巻)などの著作と、それぞれの状況での発言は、現代日本の児童文学に多大な影響を与えてきた。さらに、各種児童文学賞の選考委員を長年務めて多くの逸材を見出すなど、その活躍は多岐にわたり、わが国の児童文学と文化に残した功績は絶大である。

(児童文化賞 選考委員会)

#### ◆ 略歴 ◆

1932 年群馬県生まれ。1949 年早稲田大学文学部入学。在学中、早大童話会に所属し、創作、批評、研究の基礎を学ぶ。大学院修士課程修了後、翻訳と研究のかたわら、複数の大学で児童文学の講義を持つ。1971 年より青山学院大学にて教鞭をとり、24 年間にわたり主に児童文学を講じた。現在、同大学名誉教授。著書に、『世界児童文学案内』(1963 年)、『児童文学の中の子ども』(1971 年)、『現代イギリスの児童文学』(1986 年)、日本の児童文学作家 30 人との対話集『現代児童文学作家対談』(1988～1992 年) 全 10 巻ほかがある。『世界児童文学百科・現代編』(2005 年)は、アメリカ・ヨーロッパ圏の現代作家に関する事典を共同執筆・監修したものである。翻訳に『アーサー・ランサム全集』(1967～1968 年)、『ウォーターシップ・ダウンのうさぎたち』(リチャード・アダムス作、1975 年)など。翻訳絵本に『かいじゅうたちのいるところ』(センダック作、1984 年)がある。

#### ◆ 主な受賞歴 ◆

1964 年	日本児童文学者協会賞
1968 年	児童福祉文化奨励賞
2008 年	児童文化功労賞
2009 年	国際グリム賞